

南魚監第93号
平成26年2月25日

南魚沼市長 井口一郎様
南魚沼市議会議長 関常幸様
南魚沼市教育委員会委員長 角谷正雄様

南魚沼市監査委員 河野和男
南魚沼市監査委員 中澤一博

定期監査及び行政監査の結果に関する報告について（提出）

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を下記のとおり報告します。

記

1 監査の対象

平成25年度における財務及び経営に関する事務事業全般

2 監査の実施期間及び対象箇所

平成25年11月12日から平成26年2月12日まで

実施日	監査対象
平成25年11月12日	子ども・若者育成支援センター 城内診療所
11月14日	廃棄物対策課 ゆきぐに大和病院
11月18日	社会教育課 水道課
11月25日	下水道課
11月27日	消防本部 学校教育課
11月29日	養護老人ホーム魚沼荘 六日町学校給食センター
12月25日	環境交通課
平成26年1月7日	情報管理室 商工観光課
1月9日	都市計画課 子育て支援課
1月15日	秘書広報室 建設課
1月17日	企画政策課 市民課
1月29日	総務課 税務課
1月30日	介護保険課 農林課
2月4日	保健課 医療対策室
2月6日	財政課 福祉課
2月12日	国土調査室

3 監査の方法

あらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、所属長及び関係職員から事業執行状況等の説明を受け、その後質疑応答を行うとともに関係諸帳簿及び書類の抽出による調査等の方法により実施した。

4 監査の主眼

財務に関する事務の執行が適法適正かつ効率的に行われているか、事務事業の執行が合理的かつ効率的に行われているかを主眼とした。また、平成25年度では、各課共通事項として所管の市単独補助金を取上げ、特に、補助金の評価を実施しているか、実地監査を行っているかについて着目し、その事務が適正に執行されているかを主眼とした。

5 監査の結果

監査の結果、おおむね適正に事務処理がなされていたが、一部不備及び改善の検討を要する事項が見受けられたので、適正な執行に努められたい。

[各課共通事項]

平成24年度の市単独の補助金で、1件の金額が50万円以上のものは、次のとおりである。
(単位：件、千円)

交付件数	66件							
及び交付金額	657,404千円							
対象別件数	事業費				運営費			
及び金額	40件		381,760千円		26件		275,644千円	
区分	あり		なし		あり		なし	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
使用制限	30	317,441	10	64,319	17	191,318	9	84,326
評価の実施	3	7,376	37	374,384	5	5,419	21	270,225
独自の要綱	21	285,728	19	96,032	4	75,161	22	200,483
経過年数 (5年以上)	28	270,192	12	111,568	24	267,738	2	7,906
実地監査	6	199,100	34	182,660	3	6,781	23	268,863

(注)区分は、いずれも担当課による分類を基本にした。

地方自治法第232条の2では、「普通地方公共団体は、その公益上必要がある場合においては、寄附又は補助することができる」と規定している。これを、「補助金の交付は、市による政策目的の実現の手段である」という視点から考察し、平成24年度の補助金の交付状況について、いくつかの所感を述べることとする。

(1)補助対象を「事業費」としたものが、件数で40件(60.6%)、金額で3億8,176万円(58.1%)となっている。そのうち、評価を実施しているとしたものが、件数で3件(7.5%)、金額で737万円(1.9%)となっている。一方、評価を実施していないとし

たものが、件数37件(92.5%)、金額で3億7,438万円(98.1%)となっている。「事業」の場合、何のために事業を行うのかという「目的」があり、そのためにどのような「成果」を得るのかということを確認することが重要である。評価を実施していないということは、すなわち「成果目標を設定していない」ということであり、大きな問題であろう。

(2) 補助対象を「運営費」としたものが、件数が26件(39.4%)、金額で2億7,564万円(41.9%)となっている。団体の存立そのものが政策目的ということはないわけだから、「事業費」を補助対象とする方向に変えていくべきであろう。また、「運営費」を補助対象としているにもかかわらず、補助金の使途を制限していないものが8,432万円(30.6%)、評価を実施していないものが2億7,022万円(98.0%)、実地監査を行っていないものが2億6,886万円(97.5%)となっている。団体に対し政策目標を設定し、その評価を行い、実地監査で確認し、政策目標を見直すというサイクルが重要である。特に、経過年数5年以上のものが2億6,773万円(97.1%)となっているのを考え合わせると、「惰性で補助している」と捉えられてもやむを得ないではなかろうか。

(3) 実地監査をしていないものが全体では、件数で57件(86.4%)、金額で4億5,152万円(68.7%)となっている。これも問題である。実績報告書で確認しているということであろうが、2年ないし3年に1回程度は、相手先に赴き、帳簿等の確認を行う必要がある。そのことが相手との間にいい緊張感を保ち、いい仕事につながっていくのではなかろうか。

(4) 最後に繰り返しになるが、「補助金の交付は、政策目的の実現を図るための手段である」ということをもう少し意識する必要があると思われる。「数値目標」とまでは言わないけれども、「どういう成果を得るのか」ということを具体的に示し、実施し、その結果を検証し、さらに見直しを図るサイクルをつくり出し、補助金はその交付目的どおりの効果を示すよう望むものである。

[各課個別事項]

子ども・若者育成支援センター

1 主な事務分掌

教育支援、青少年育成支援、家庭教育支援、ユニバーサルデザイン支援(巡回訪問相談・乳幼児健診時発達相談・遊びの教室)、教育相談、心の教室相談員、適応指導教室

2 機構・職員の状況

センター長	—— 育成支援係	6名	うち非常勤職員	2名
	(若者担当)	3名	うち非常勤職員	3名
	(子ども担当・相談員)	6名	うち非常勤職員	6名
	(子ども担当・指導員)	4名	うち非常勤職員	4名
	計	20名	うち非常勤職員	15名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

平成25年度から臨床心理士が配置となり、体制が強化された。不登校、あるいはニート・ひきこもりの若者やその家族への支援等取り組む課題は重い。対象者に寄り添った支援を望むものである。

城内診療所

1 主な事務分掌

城内診療所（有床：一般病床15、介護病床4）の管理、運営

2 職員の状況

（単位：人）

職 種	平成25年度	平成24年度	比較増減
医 師	9 (8)	8 (7)	1 (1)
看 護 師	8 (1)	9 (1)	1 (0)
准 看 護 師	2 (1)	3 (2)	1 (1)
看 護 助 手	6 (6)	6 (6)	0 (0)
臨 床 検 査 技 師	2 (1)	2 (1)	0 (0)
診 療 放 射 線 技 師	3 (2)	3 (2)	0 (0)
薬 剤 師	1 (1)	1 (0)	0 (1)
理 学 療 法 士	1 (0)	2 (0)	1 (0)
リ ハ ビ リ 助 手	1 (1)	3 (3)	2 (2)
管 理 栄 養 士	1 (1)	1 (1)	0 (0)
事 務 職	4 (2)	4 (2)	0 (0)
計	38 (24)	42 (25)	4 (1)

（注）（ ）内は、非常勤職員等の再掲である。

3 業務の状況

（1）患者数

（単位：人、％）

区 分	平成25年度	平成24年度	比較増減	前年度比
外来患者数	(385)	(518)	(133)	(74.3)
	6,429	7,755	1,326	82.9
入院患者数	(703)	(653)	(50)	(107.7)
	2,432	3,030	598	80.3
計	8,861	10,785	1,924	82.2

（注）外来患者数欄の（ ）は初診患者数の、入院患者数欄の（ ）は介護病床のそれぞれ再掲である。

（2）収支状況

（単位：千円）

区 分	収 入	支 出	差 引
平成25年度	111,998	163,386	51,388
平成24年度	122,431	193,344	70,913
比較増減	10,433	29,958	19,525

(3) 所感

患者数の減少、それによる収入の減少と経営状況は厳しい。市立病院群の再編の中で、いい処方箋を望むものである。

廃棄物対策課

1 主な事務分掌

廃棄物政策関係(減量化、資源化等)、一般廃棄物処理計画、ごみ収集関係、施設管理(ごみ処理施設、し尿処理施設、最終処分場)、スラグ二次製品化関係

2 機構・職員の状況

課長	—	廃棄物対策係	5名
	└	廃棄物処理係	5名
		計	11名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

溶融スラグの処分先が下水道工事の終了とともに、新たな処分先の確保に苦慮している状況である。市一体となった取り組みを望むものである。

また、し尿処理施設の計画、ごみ処理施設の広域化計画等、人口減少の基調の中で大型の設備投資が見込まれている。過ちのない計画執行を望むものである。

ゆきぐに大和病院

1 上半期業務執行状況

(1) 患者数

(単位：人、%)

区 分	平成25年度	平成24年度	比較増減	前年度比
外来患者数	69,754	72,382	2,628	96.4
入院患者数	28,554	30,269	1,715	94.3
計	98,308	102,651	4,343	95.8

主な減少は、外来患者数では、整形外科で平成24年度12,379人が平成25年度10,350人と2,029人減、眼科で同じく3,124人が1,859人と1,265人減となった。入院患者数では、整形外科で同じく6,446人が4,322人と2,124人減となった。

(2) 損益

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度	平成24年度	比較増減	前年度比
1 医業収益	1,586,891	1,600,402	13,511	99.2
2 介護保険収益	18,273	15,845	2,428	115.3
3 医業費用	1,731,150	1,716,350	14,800	100.9
医業損失	125,986	100,103	25,883	125.9
4 医業外収益	257,389	252,592	4,797	101.9

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 4 年度	比較増減	前年度比
5 医業外費用	34,425	33,073	1,352	104.1
経常利益	96,978	119,416	22,438	81.2
6 特別利益	0	0	0	
7 特別損失	0	226	226	皆減
当年度純利益	96,978	119,190	22,212	81.4

2 所感

昨年に引き続き減額査定状況に着目した。推移は表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度
診療収入	2,428,995	2,392,950	2,464,922
減額査定	5,927	8,020	13,882
割合 /	0.2	0.3	0.6

減額査定とは、診療を行ったとして請求したものが、審査支払機関である国保連合会又は社会保険診療報酬支払基金から過剰診療等により支払いを拒絶されるものであり、医療機関の経営面でも無視できないものである。この金額が、額、割合とも年々増加している。医師、請求部門等が連携し、縮減に努力されたい。

社会教育課

1 主な事務分掌

社会教育、生涯学習、公民館事業、スポーツ推進、文化行政、史跡・遺跡、郷土史編さん

2 機構・職員の状況

社会教育課	— 生涯学習班	12名うち非常勤職員4名
	— 文化振興係	4名
	— 郷土史編さん係	6名うち非常勤職員4名
	— 生涯スポーツ係	6名うち非常勤職員1名
	・ 指定管理施設 (文化施設4か所、体育施設15か所)	
	・ 直営管理施設 (文化施設7か所、体育施設8か所)	
	計	29名うち非常勤職員9名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

大原運動公園整備事業、図書館整備事業等の大型事業が、次年度以降順次供用開始される。準備が遅滞なく進められているが、市民に親しまれる施設運営となるよう望むものである。

市主催の各種教室について監査したところ、参加費等の経理に一部不適切な例がみられるので、改善するよう求めた。

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

全市下水道工事の完了目途を平成27年度とし、事業が進められている。平成25年3月31日現在の下水道の接続状況等は表のとおりである。

(1) 下水道接続率

(単位:人、%)

区 分	塩沢地区		六日町地区		大和地区		浄化槽	計
	公共下水道事業	農集集落排水事業	公共下水道事業	農集集落排水事業	公共下水道事業	農集集落排水事業		
行政人口	15,215	3,780	17,255	7,212	12,129	1,950	2,925	60,566
処理区域人口	14,490	3,778	15,951	7,212	12,125	1,950	1,963	57,469
水洗化人口	10,033	3,398	12,435	6,782	10,321	1,909	1,949	46,827
水洗化率	69.2	89.9	78.0	94.0	85.1	97.9	99.3	81.5

(注) 行政人口の計欄の数値は、区域外100人を含む。

(2) 未接続世帯

(単位:世帯)

区 分	未接続世帯数	処 理 別 内 訳		
		合併浄化槽	単独浄化槽	汲 取 り
塩 沢 地 区	1,488	174	868	446
六日町地区	1,322	248	757	317
大 和 地 区	543	35	227	281
市 全 体	3,353	457	1,852	1,044

接続促進対策として、(1) 接続促進事業、(2) 改造資金融資制度、(3) 啓発活動 が取組まれている。

平成24年度の接続状況の実績は、以下のとおりである。

区 分		件 数	割 合(%)
浄化槽	補助対象	224	44.2
	補助対象外	38	7.5
汲 取 り		99	19.5
そ の 他		146	28.8
合 計		507	100

接続促進事業は、件数で224件、割合で44.2%を占めている。1件当たりの金額は、工事費が47万円、補助金交付額が16万円となっている。

水洗化率の向上は下水道事業の経営の根幹である。なお一層の努力を望むものである。

下水道料金及び下水道負担金・分担金の不納欠損に係る個別調書の監査を行ったところ、下水道料金については、徴収を水道課に委託しているので、水道料金と同様に記載内容の充実を求めた。下水道負担金・分担金についても、調書の項目の多くが空欄で、当該調書のみでは不納欠損の妥当性を判断するのに苦慮する事例が散見された。当該調書で判断できるよう記載内容の充実を求めた。

消防本部

1 主な事務分掌

火災・救急・山岳遭難・災害等の出動、建築確認申請同意、危険物、消防団

2 機構・職員の状況

消防長	——	消防次長	——	消防庶務課	消防庶務係	2名	
					消防団係	2名	
					通信指令係	1名	
			警防課	警防係	2名		
				防災救助係	1名		
				救急係	1名		
			予防課	予防係	2名		
				危険物係	2名		
				指導係	1名		
			南魚沼市消防署		3小隊	42名	
			└─	南魚沼市消防署大和分署	3小隊	19名	
			└─	南魚沼市湯沢消防署	3小隊	26名	
					計	105名	

(注) 消防次長は、南魚沼市消防署長及び警防課長を兼務。

南魚沼市消防署の小隊員は各係に配属。

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

消防庁舎整備事業では訓練棟の整備、平成28年6月1日からの消防救急無線デジタル化完全移行に伴う消防救急無線ネットワーク整備、消防団の再編成に伴う軽積載車の導入等機動力の向上に向けた整備がなされている。また、平成25年度は女性消防官も誕生した。

平日の昼の火災では、消防団の出動もままならない。市民の安全・安心のため常備消防に課せられた使命は重い。よりきめ細やかな活動を望むものである。

学校教育課

1 主な事務分掌

学校運営、学校施設管理、学校保健、教育指導、教科書関係、学習指導の調査・研究・指導、給食調理

2 機構・職員の状況

学校教育課	└─	学校指導係	12名うち非常勤職員8名
		学校庶務班	95名うち非常勤職員67名
		大和給食係	12名うち非常勤職員5名
		六日町給食係	19名うち非常勤職員9名
		塩沢給食係	26名うち非常勤職員14名

計 108名うち非常勤職員75名 (注) 枠の給食係人数は含まない。

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

要保護準要保護児童生徒就学援助事業及び特別支援教育就学援助事業に係る書類を監査したところ、添付書類の不足等が見受けられたので、是正を求めた。

養護老人ホーム魚沼荘

1 主な事務分掌

養護老人ホーム魚沼荘の管理、運営

2 機構・職員の状況

所長 — 庶務係 1名
 └ 相談係 11名うち非常勤職員7名
 南魚沼市社会福祉協議会職員 14名うち非常勤職員7名
 計 27名うち非常勤職員等14名

平成25年10月15日現在の入所者数は、56人(男24人、女32人)である。

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

入所者の状況は、以下のとおりである。

- ・市町別 南魚沼市 52人 湯沢町4人
- ・年齢等 平均年齢 82歳
 最高年齢 97歳
 最少年齢 65歳
- ・経過年数 平均経年 6.8年
 最高経年 24年
- ・介護保険認定状況 30人(男14人、女16人)

職員体制が寄合所帯の状況である。各々がその道の専門家であるが、連携を良くし、老人コミュニティがいつまでもより良い状況を保てるよう、一層の努力を望むものである。

六日町学校給食センター

1 主な事務分掌

学校給食センターの管理運営(六日町地区小中学校10校の給食約2,600食の提供)

2 機構・職員の状況

六日町給食係長 — 調理員 18名うち非常勤職員9名
 └ 栄養士 2名
 計 21名うち非常勤職員9名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

春の学校の定期監査でも、アレルギー事故の事案が見受けられた。保護者、学校と連携し、事故防止に努められたい。また、食品に対する放射性物質の安全性が心配されている。納品食材の検査の充実を図り、安心・安全な学校給食の提供を望むものである。

環境交通課

1 主な事務分掌

地盤沈下対策及び地下水保全、新エネルギー及び省エネルギー、有害鳥獣対策、交通安全

2 機構・職員の状況

課長	—	環境交通班	{	環境	3名
				交通	2名
				計	6名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

地盤沈下対策の一環として、平成22年度から事業費約5千万円で実施した「緑の分権改革・地下水熱利用融雪システム実証事業」について、どのような結果なのか、今後の方向性について検証ができていない。とりわけ当該事業で建設した「上町エコ住宅」の扱いをどのようにするのか結論が出ていないようである。新しい事業に飛びつくのもチャレンジ精神旺盛でいい面もあるが、一つ一つの事業について尻切れトンボの流れ解散ではなく、その結果を総括していくことが次につながるものとする。事業の始末について早急に結論を出すよう望むものである。

クマ、サル等の有害鳥獣対策も大きな課題である。実施部隊である「猟友会」も会員数の減少（会員数88名）や会員の高齢化（平均年齢62.9歳）により活動力が低下しているとのことである。安全に配慮し、活動するよう望むものである。

情報管理室

1 主な事務分掌

電算管理、行政情報化

2 機構・職員の状況

室長	—	情報管理係	2名
		計	3名

3 所感

電算システムは行政活動の基本インフラである。安全性（情報セキュリティ、機器のトラブル等）に十分配慮して運用するよう望むものである。

現在、合併以来2回目の電算システムの更新を迎えるが、調達面では硬直的になりやすい。競争性が発揮できるような工夫を望むものである。

なお、GISの状況について聞き取りを行ったところ、ベースとなる地図情報の更新に関し、特定の事業者に過度に依存している状況がみられる。GISの今後の利用可能性の広がりを考慮すると、地図情報のアップデートに関し、もう少し安定したシステムを構築するよう望むものである。

商工観光課

1 主な事務分掌

観光宣伝、山岳救助、商工振興、企業誘致、雇用対策

2 機構・職員の状況

課長 ┌ 観光交流班 11名うち非常勤職員3名
└ 商工振興班 6名
計 18名うち非常勤職員3名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

食によるまちおこし、各種イベント、図書館ワークショップ、国際大学連携プログラムの取組み等々新旧入り乱れた事業が目白押しである。課長を筆頭に各主幹の「この地に人を呼んで来て、豊かな地域にしたい」という熱い思いは十分感じることができる。確かに、一つのイベントをやりきることも重要だけれども、それら一つ一つが有機的に結びつき、大きな物語を構成する戦略的観光を展開するよう望むものである。

都市計画課

1 主な事務分掌

都市計画、交通施策、まちづくり支援、建築確認、施設管理、公営住宅、克雪及び雪対策

2 機構・職員の状況

課長 ┌ 都市計画係 5名
└ 施設係 6名
計 12名

3 所感

「市民バス」の再編問題、合併前の六日町以来のスノートピア事業、都市計画(用途地域、街路網)の見直し等期限を切って約束した事案や積み残しの事案等が山積している。いずれも一筋縄ではいかない事案であるが、市民の期待に大きなものがある。努力を要望した。

住宅リフォーム事業補助金について監査したところ、当該事業は「南魚沼市住宅リフォーム事業補助金交付要綱」により実施しているが、要綱と様式の文言とが一致していないので、適宜適切な改正を行うよう是正を求めた。

子育て支援課

1 主な事務分掌

保育園、学童保育、ほのぼの広場、児童福祉施策、母子・父子関係

2 機構・職員の状況

課長 ┌ 保育班 8名

保育園	大和地域	市立	4園
		公設民営	1園
六日町地域		市立	7園
		公設民営	2園
		私立	2園
塩沢地域		市立	8園
		私立	2園

└ 子育て支援センター 3名
└ こども家庭支援班 7名
計 19名

(なお、市立保育園19園の職員数は364名うち非常勤職員214名である。)

3 所感

塩沢地区及び中之島地区において、保育園の整備計画が検討中である。保護者、関係各課、議会等との連携を良くし、意思の疎通を図り、手戻りの無いよう事業を進めることを望むものである。

妊産婦医療費助成事業について監査したところ、領収書の確認不足による助成漏れ、助成月の誤りが散見されたので是正を求めた。

秘書広報室

1 主な事務分掌

秘書業務、友好都市交流、広報紙発行、公式ウェブサイト、公式Facebookページ、広聴事務

2 機構・職員の状況

室長	—	秘書広報班	}	秘書	2名
				広報・広聴	2名
				計	5名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

市からの情報発信でも、市民からの情報受信でも、感度を良くし、情報の好循環をつくり出すよう望むものである。

建設課

1 主な事務分掌

道路河川等維持修繕、災害復旧、道路除雪、道路新設改良

2 機構・職員の状況

課長	└	維持管理班	10名
	└	建設係	6名
		計	17名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

市道延長は998kmあり、その道路除雪に係る予算額は課予算額の43%を占めている。合併後10年を経過し、三地区の除雪体制の平準化も進みつつある。平成25年度から全除雪車にGPSを搭載し、より一層の除雪体制の効率化を図ろうとしている。期待するものである。

道路占用許可申請について監査を行ったところ、許可申請書を補正させることなく、結果として異なった占用期間で許可している事案があったので是正を求めた。

企画政策課

1 主な事務分掌

総合計画、行財政改革・行政評価、統計調査、地域活性化事業

2 機構・職員の状況

課長 — 企画班 6名
計 7名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

次々と新しい事業に取り組んでおり、仕掛けをしているが、事業者 市民のやる気を引き出す工夫がないと、いずれも尻切れトンボになってしまう懸念がある。合併して10年である。そろそろ「絵を形にする」時期かと思われる。

市民課

1 主な事務分掌

戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療

2 機構・職員の状況

課長 — 市民係 9名
— 国保年金係 9名うち非常勤職員2名
計 19名うち非常勤職員2名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

社会保障制度改革に伴う国保制度改正に留意し、的確な対応を図るよう望むものである。後期高齢者医療保険料の滞納状況は、表のとおりである。

(過去5年間の滞納状況の推移)

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人数(人)	44	65	54	49	28
金額(円)	977,800	2,031,400	2,207,200	1,590,600	1,011,400

高額療養費及び療養費支給申請について監査したところ、一部支給漏れ、計算誤り、添付書類の不足、記載漏れ等が見受けられたので、是正を求めた。

総務課

1 主な事務分掌

人事関係、防災、選挙事務、議会对応

2 機構・職員の状況

課長 — 人事係 5名
— 防災庶務班 7名
計 13名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

防災面では、緊急告知ラジオが行政区への配備を完了したことや、自主防災組織の組織化が97%となっている等着実な成果を上げつつある。ただ内実は、1年交代の行政区役員が

兼務している。形骸化を防ぎ、実質的な強化が図れるよう配慮を望むものである。

法規審査委員会が組織されているが、ほとんど機能していない。有効に活用されるよう望むものである。

近年職員のメンタルヘルスが大きな課題となっている。療養休暇等の取得状況は、次のとおりである。

延べ人数 58人 実人数 47人

区分	療養	休職
	47	11
	81%	19%

性別	男	女
	23	35
	40%	60%

年齢	20代	30代	40代	50代	60代
	5	12	17	22	2
	9%	21%	29%	38%	3%

原因	負傷	メンタル	その他疾病
	13	18	27
	22%	31%	47%

税務課

1 主な事務分掌

市税、収納管理、滞納整理

2 機構・職員の状況

課長 — 市民税係 8名
 — 資産税班 10名
 — 収税班 15名うち収納嘱託員4名
 計 34名うち収納嘱託員4名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

平成25年12月末現在の市税収納状況は次のとおりである。

(単位：千円、%)

区分	平成24年12月末			平成25年12月末		
	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
一般会計	8,900,049	5,989,914	67.3	8,672,249	5,945,614	68.6
国保会計	2,213,304	1,140,583	51.5	2,111,379	1,107,080	52.4

また、滞納処分の状況は次のとおりである。

(単位：件、千円)

年 度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
差押件数	218	195	183	206	272
換価件数	129	135	119	144	213
収納済額	12,344	19,583	13,275	18,418	19,201

市税の執行停止状況の調書について監査したところ、特に指摘する事項はなかった。

介護保険課

1 主な事務分掌

介護保険事業、地域包括支援センターの運営

2 機構・職員の状況

課長	—	介護保険係	5 名	
	—	介護認定係	11 名うち非常勤職員 8 名	
	—	包括支援係	3 名うち非常勤職員 1 名	
	—	地域包括支援センター		
			大和地区	4 名うち非常勤職員 1 名
			六日町地区	6 名
			塩沢地区	5 名うち非常勤職員 1 名
		計	35 名うち非常勤職員	11 名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

平成 26 年 1 月 30 日現在の介護保険料段階別未納者の状況は、次のとおりである。

(単位：人、円)

	平成 23 年度		平成 24 年度		合 計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額
第 1 段階	7	105,800	3	7,100	10	112,900
第 2 段階	27	447,600	42	617,900	69	1,065,500
第 3 段階	8	196,300	15	320,600	23	516,900
第 4 段階	24	667,000	27	929,300	51	1,596,300
第 5 段階	10	283,900	13	541,600	23	825,500
第 6 段階	36	1,480,800	42	1,920,000	78	3,400,800
第 7 段階	5	192,400	6	164,700	11	357,100
第 8 段階	0	0	6	128,400	6	128,400
第 9 段階	-	-	1	35,400	1	35,400
合 計	117	3,373,800	155	4,665,000	272	8,038,800

市民が、健康寿命を延ばし、いつまでも生きいきとした生活ができるよう介護予防に取り組むことを望むものである。

農林課

1 主な事務分掌

農業・水産業・林業の振興に関すること

2 機構・職員の状況

課長	└	農業振興係	9名
	└	農地林務班	13名うち任期付職員1名、非常勤職員2名
		計	23名うち任期付職員1名、非常勤職員2名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

国の米政策が大きく転換しようとしている。今後の農業振興について、農業関係者とよく研究していくことを望むものである。

平成23年新潟・福島豪雨災害から3年目が経過する中で、ほぼ復旧工事は完了したとのことである。関係者の努力に敬意を表するものである。

保健課

1 主な事務分掌

母子保健（妊婦健診、乳幼児健診、育児支援、予防接種）成人保健（住民健診、自殺対策）

2 機構・職員の状況

課長	└	母子保健班	15名うち非常勤職員3名
	└	成人保健班	18名うち非常勤職員4名
		計	34名うち非常勤職員7名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

基本健診関係の情報が、国民健康保険被保険者に係る健診情報しか入手できない中で、保健活動が制約をされざるを得ない状況である。市民一人一人が自分の問題として「健康」をとらえられるよう、地域コミュニティと連携を図りながら、事業を進めることを望むものである。

医療対策室

1 主な事務分掌

基幹病院建設関係、医療再編

2 機構・職員の状況

室長	—	医療対策班	11名うち非常勤職員6名
		計	12名うち非常勤職員6名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

魚沼地域医療連携ネットワークの参加申込状況は、おおむね予定通りとのことである。

財政課

1 主な事務分掌

予算編成、地方交付税、財産管理、用地物件交渉、契約、工事検査、車両運行管理

2 機構・職員の状況

課長	— 財政係	4名
	— 用地管財班	5名
	— 契約検査班	5名うち非常勤職員1名
	— 車両班	{ 大和 4名 六日町 6名 塩沢 4名
	計	29名うち非常勤職員1名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

公用車による事故が、平成25年12月末現在で34件（前年同月27件）と、多く発生している。適切な対応を望むものである。

福祉課

1 主な事務分掌

高齢者対策、障がい者自立支援、生活保護、権利擁護、虐待対応

2 機構・職員の状況

課長	— 高齢福祉係	5名
	— 障がい福祉係	6名うち非常勤職員2名
	— 厚生福祉係	8名うち非常勤職員3名
	計	20名うち非常勤職員5名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

災害時要援護者個別支援計画の策定が進められているが、平成21年度から5年が経過し、全233行政区中112行政区が策定済みとのことである。約48%の策定率である。早急に策定されることを望むものである。

通所施設等整備されているが、定員割れの施設もあるとのことである。関係機関と連携を図り、ニーズ把握に努め、福祉サービスの向上と施設整備計画を進めていくことを望むものである。

国土調査室

1 主な事務分掌

地籍調査

2 機構・職員の状況

室長	— 国土調査係	7名うち非常勤職員1名
	計	8名うち非常勤職員1名

3 所感

事務は順調に執行されていた。